

福井商工会議所の動き

FCCI NEWS

2月度議員懇談会

北陸地域の経済活動について懇談



2月度議員懇談会を2月1日午前11時から福井商工会議所ビルで開催し、72名が出席した。

開会にあたり、八木会頭は1月6日に行った記者会見を振り返り、今年の活動指針として「#（ハッシュタグ）ふくい、前へ！」を発表したことを紹介。その意図として、来年春に迫った北陸新幹線の福井開業に向け、物事を前に進めるチャンスと捉え、動きを広く発信し、多くの人に参画してもらおうとともに、幅広く意見を募る姿勢を示したものであると説明。これまで積み重ねてきた準備を、しっかりと形に変え、実績を出していく時期を迎えていると述べ、議員の支援・協力を呼び掛けた。

さらに、1月27日に県経済団体連合



議員懇談会であいさつする八木会頭

会に対して、杉本県知事から賃金引上げに関する要請が行われたことを紹介（詳細は8ページを参照）。業種・業態で置かれている市場環境や収益力には違いが有り、一律の賃上げは難しいとの認識を示した。その一方で、企業経営の根幹を成すのは人材であり、社員育成・成長と会社の成長は一体であるとし、収益配分を見直す転換期にあると強調した。当所としては、各企業が持つDXの情報やノウハウを共有化するなど、収益力の向上につながる中小企業のサポートに取り組んでいきたいと抱負を述べた。

続いて懇談に移り、北陸財務局福井財務事務所の大塚美樹所長から「北陸地域の経済活動」をテーマに講演が行われた。

大塚所長は、北陸新幹線の敦賀延伸が近づき、広域周遊観光の推進に向けた取り組みが行われていることを紹介。今後は旅行者のニーズを取り入れた体験型観光ツアーの企画や、キャッシュレス決済の導入など、受け入れ環境の整備が重要であると述べた。

また、今年1月の福井県内の経済情勢の総括判断については、電子部品・デバイスや化学製品の生産分野で弱含みの動きが見られることから、「持ち

直しの動きに一服感が見られる」と、前回から下方修正したことを説明。県内企業からは、原材料価格の高騰や半導体などの供給不足による影響を懸念する声が出ていることを紹介した。



北陸の経済について講演する大塚所長

今後の先行きについては、ウィズコロナの政策効果の影響から、景気が持ち直していくことが期待される一方、世界的な金融引き締めで、海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクになると指摘。物価上昇や供給面での制約、中国における新型コロナウイルスの感染拡大の影響に注意する必要があると分析した。

【議員異動】（敬称略）

日本通運株北陸西支店福井支店

（旧）野尻 貴巨（支店長）

（新）清水 孝洋（支店長）

事業開催結果

1.6

賀詞交歓会・
会頭年頭記者会見
担当／総務・経理課

賀詞交歓会／福井商工会議所ビル コンベンションホール
会頭記者会見／福井商工会議所ビル 特別会議室

新年の始まりに賀詞交歓会を開催。会頭挨拶、来賓祝辞、乾杯などに続き、マリンバの演奏も行われる和やかな雰囲気の中で、約300名参加者が新年の挨拶を交わした。

続いて、年頭の記者会見に臨んだ八木会頭は今年を北陸新幹線の福井開業に向けて「県都グランドデザイン」を実行する重要な1年と位置付け、街に賑わいを作り出し、ワクワク・ドキドキするような仕掛けを行動に移していきたいと述べた。その上で、賑わい作りの役割を担うプレーヤーの発掘や育成が重要であるとし、商工会議所としてその発掘や相互交流を通して「点を面に繋げていく」伴走支援に取り組んでいきたいと意気込みを述べた。

また、北陸新幹線の全線開業に向け、昨年、大阪・京都商工会議所で全線開業の経済効果をアピールするPR展示を行ったことを紹介し、関西の経済界とさらに連携を強化していきたいとの意向を示した。

さらに、当所の今年の活動指針として「#ふくい、前へ!」を掲げ、社会変化の中で様々な事業を前に進め、その能動的な動きを発信し、仲間と共に百年後の福井を目指した礎を作っていきたいと抱負を語った。



1.16~18

源泉所得税
年末調整相談会
担当／金融・会計相談課



従業員・専従者の源泉所得税年末調整相談会を開催。初日から多数の利用者が来場し、控除額や税額の算出方法について、指導員の説明に熱心に耳を傾けていた。また、インボイス制度や電子帳簿保存法に関する質問も寄せられ、税制改正に対する関心の高さが窺えた。

利用者／153名

会場／福井商工会議所ビル AB会議室

12.23

日商珠算能力検定試験
1級満点合格表彰状伝達式
担当／地域事業・観光振興課



日本商工会議所主催珠算能力検定1級試験で満点合格者が誕生。合格した松森健太さん（藤島高1年／さくらそらぼん所属）に、嶋田専務理事から表彰状と盾等が伝達された。松森さんは「最高段位の十段取得を目指して今後も研鑽に励みたい」と笑顔で次の目標を語った。

会場／福井商工会議所ビル 役員会議室

事業開催結果

1.24 外国人材雇用セミナー 担当／人材確保支援センター



外国人労働者の雇用に関し企業が留意すべきポイントについて解説。海外における日本の魅力は円高の影響等もあって低下しており、外国人労働者を雇用する際は「働きやすい環境づくり」と生活面でのサポートなど「手厚いフォローアップ体制」が不可欠と説いた。

受講者／29名
会場／福井商工会議所ビル コンベンションホール

1.20 北陸新幹線福井駅舎・ 福井市観光交流センター 見学会 担当／まちづくり・産業振興課



鉄道・運輸機構と福井市役所の協力の下、議員企業を対象に、新福井駅舎と福井市観光交流センターの見学会を開催。駅舎では笈谷石や県産材が使用されたコンコースや、全長300m超のホームを見学したほか、観光交流センターでは屋内や屋上の恐竜モニュメントを見学した。

参加者／55名
会場／福井駅・福井市観光交流センター

【福井県からの要請】 賃金の引き上げに関する お願いについて

原材料の高騰など経営を取り巻く不安定要素が高まる中においても、新型コロナと経済活動の両立を図り、従業員の雇用維持に努められている経営者の皆様のご尽力に厚くお礼申し上げます。

県としても、新事業に挑戦し成長を目指す企業や、賃上げ、学び直しなど積極的に「人への投資」を行い、生産性の向上を図る企業への支援を強化します。

さらに本県経済を一段高い成長戦略に乗せるためには、働き手への適切な分配を実現し、未来への投資である賃上げを原動力に、更なる成長に繋げる経済の好循環を生み出すことが不可欠です。

経営者の皆様におかれましては、厳しい経営環境下ではありますが、将来にわたり本県経済の競争力の向上を図り、若者の本県定着を促進するため、物価上昇に負けない積極的な賃金の引き上げをお願いします。

1.27 県経団連に賃上げ要請 担当／総務・経理課



福井県経済団体連合会の八木誠一郎会長は杉本達治県知事から賃上げに対する要請を受けた。杉本知事は県内経済力の向上や若者の定着促進のため、積極的な賃上げに取り組むよう要請。八木会長は「各企業に出来る限り検討してもらえよう、各加盟団体に伝えたい」と応じた。

会場／福井商工会議所ビル 貴賓室
※福井県からの要請内容は左記の通り